

JAXA（宇宙航空研究開発機構）と教育委員会による 「LUNARCRAFT（ルナクラフト）」を活用した 不登校支援プログラムの取組を公開します！

JAXAと教育委員会では、JAXA宇宙教育センターのコンテンツである「ルナクラフト」を活用し、「宇宙教育」や協働的・探究的要素を取り入れた不登校支援プログラムを用いた学習活動に取り組んでいます。

この度、教育支援センター^{*1}「すばる」^{*2}での学習活動の様子を公開します。

1 日時

令和8年2月17日（火）午前10時40分～午前11時40分

2 会場

相模原市立大野南公民館 大会議室2

（南区相模大野5-31-1 市南区合同庁舎 2階）

3 内容

子どもたちは、全4回で構成された不登校支援プログラムを通して、月の環境を学んだ後、「ルナクラフト」内でチームを結成しミッションにチャレンジします。

これまでに月面で住める家を建設し、自給自足ができる環境を整備するなどのミッションをクリアし、最終回となる第4回目（2月17日）では、『自分たちだけ』の月面都市の完成を目指します。

4 その他

取材を希望する場合は、2月16日（月）正午までに問い合わせ先までご連絡ください。

撮影にあたっての注意事項があります。当日は職員の指示に従ってください。

【資料】「ルナクラフトの概要」

* 1 教育支援センター：自宅から出ることはできるが、学校に通うことが難しい児童生徒を対象とした、学校とは違う環境で学習支援や小集団活動、個別支援を行い、個々の状況に応じて、学校復帰や社会的自立を目指す場であり、市内には8箇所設置。【対象（小学生）：2、（中学生）：3、（小中学生）：3】

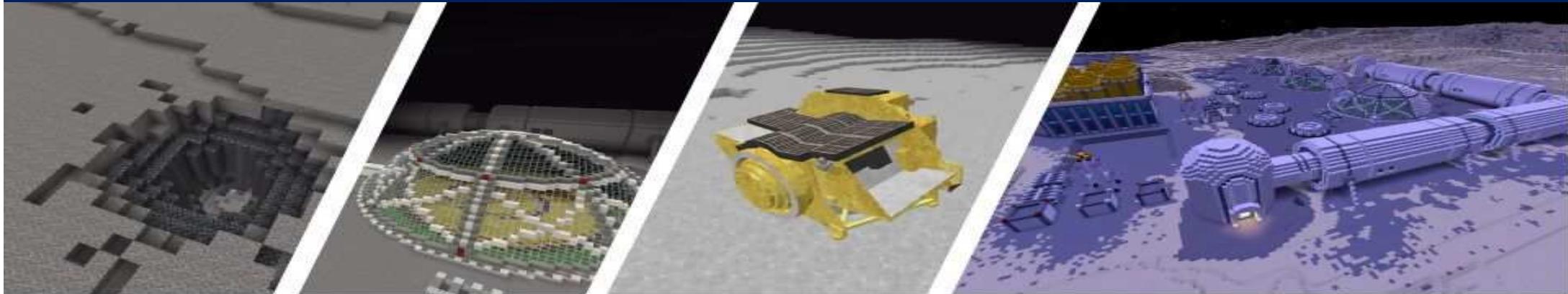
* 2 教育支援センター「すばる」：小学生が対象。登録人数は、14人。（令和8年1月15日時点）

【問い合わせ先】

教育相談課

042-769-6144（直通）

ルナクラフトの概要



JAXAがつくった遊んで学べるマイクラ月ワールド

LUNARCRAFT

- ルナクラフト -

ルナクラフトは、JAXAの衛星「かぐや」が取得した月面データをもとにマイクラフトで作ったワールドです。ここは2050年の月の世界。100人くらいが住むようになっているかもしれません。しかし、まだまだ開拓すべきことがある。きみはどんな月面世界を作りたいかな？さあ、みんなで地球とは違う月の世界の冒険に出発しよう！

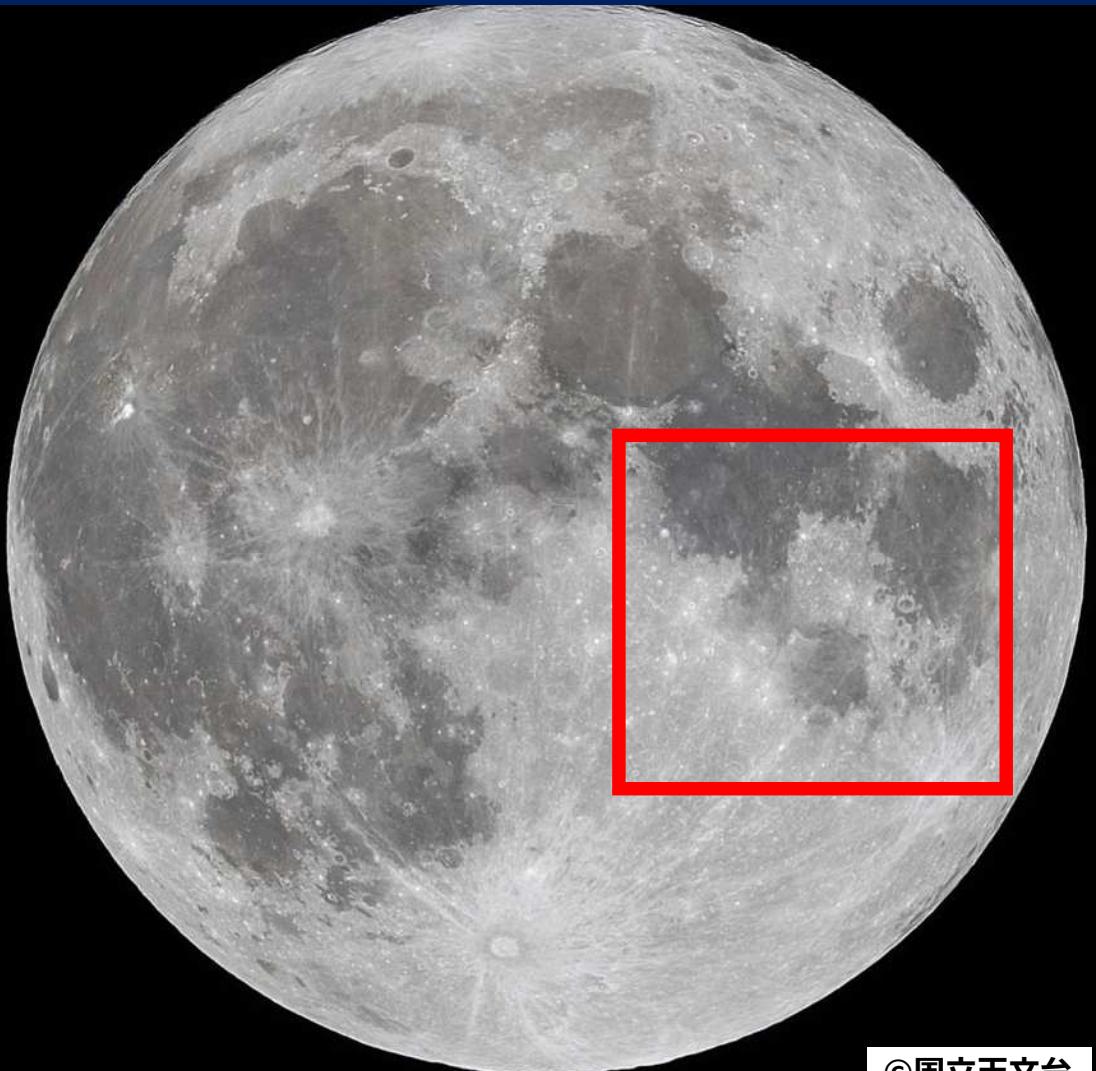
ルナクラフトはQRコードから無料でダウンロードできます。

本製品はMinecraft公式製品ではありません。Mojangから導入されておらず、Mojangとは関係ありません。



©JAXA

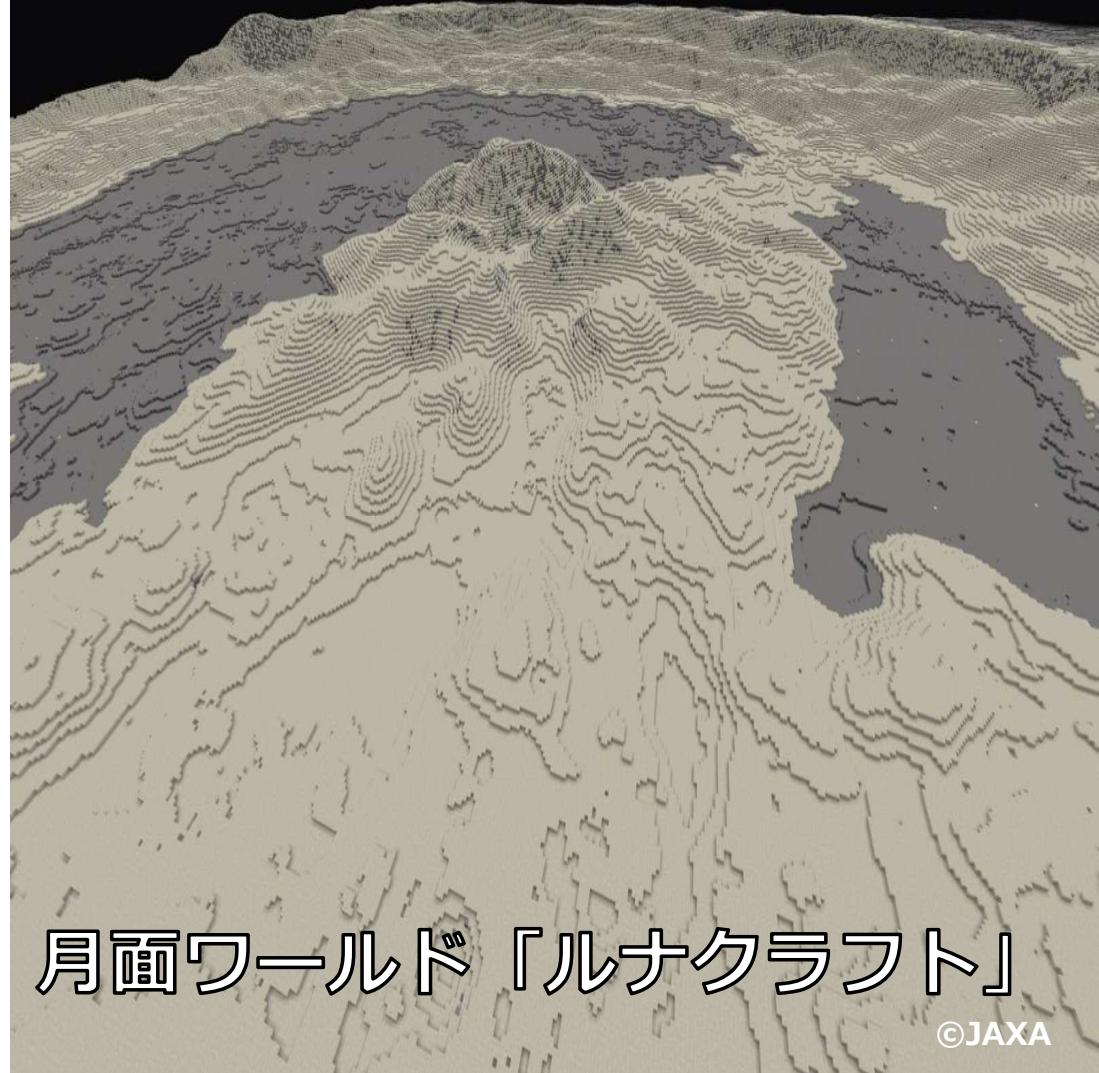
ルナクラフトとは？



©国立天文台

- ・月の起源と進化を探るために種子島から打ち上げられた人工衛星「かぐや」が取得した膨大なデータを基にJAXAがマインクラフトで月面ワールドを再現。
- ・リアルな月面ワールドを使って、ブロックを組み立てながら自由にデザインしたり、建築したりして『月面都市』を創造することや、月面を探索することができます。

ルナクラフトのプレイ画面



ルナクラフトを通じた学習活動

月面上での建築や探索を通して「学ぶ」

月面の自由な建築、探索はもちろん、職員が用意した「ミッション」を解決するために仲間と協働的に活動します。課題解決に向けて教科横断的に調べたり、アイデアを練ったり、試行錯誤したりすることで探究的な学びにつながります。

例)

ミッション

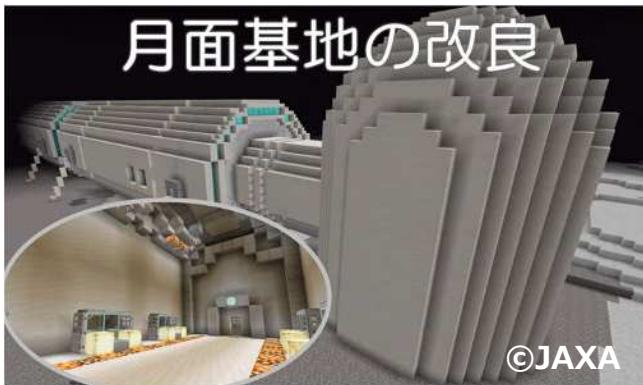
関連する学び

「月の生活で必要なものを3つ考えてみてね」

→理科（物質循環）、社会（生活基盤）

「月で育てられそうな食べ物を1つ選んで理由を考えてみよう」

→理科（光合成）、数学（必要量の計算）



↑↑ミッションカードの例↑↑